

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年09月16日

計画の名称	防災・安全社会資本総合整備計画（秋田県仙北市地域）												
計画の期間	平成30年度～平成31年度（2年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	仙北市												
計画の目標	市所有の特定既存耐震不適格建築物の安全性を確保することを目的とし、耐震化を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	90	A	90	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値	最終目標値 (H31末)
1	要安全確認計画記載建築物である仙北市役所田沢湖庁舎を含めた市所有特定既存耐震不適格建築物の耐震補強を行うことにより、耐震化率の向上を目指す。 市所有特定建築物の耐震化率 = 耐震性が確保された特定建築物棟数 / 市所有特定建築物軒数	82%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	仙北市	直接	仙北市	-	-	住宅・建築物安全ストック形成事業	田沢湖庁舎の耐震補強設計、耐震補強工事、設計監理、工事監理	仙北市						90		-	
												小計						90		
											合計						90			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

仙北市において、目標値の達成状況等を確認

事後評価の実施時期

令和3年9月

公表の方法

仙北市ホームページに公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

市所有特定建築物の耐震化率が82%(H30)から83%(R2)に向上した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況(必要に応じて記述)

特記事項(今後の方針等)

引き続き、次期計画(R3-R7)を目標とした取組みを推進する。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	83%
		市所有特定建築物の耐震化率=耐震性が確保された特定建築物棟数/市所有特定建築物件数 厳しい財政状況により予算の確保が困難なこと、また施設の老朽化及び少子化などによる人口の推移も見据えた公共施設のあり方等検討を進める必要があり、耐震化が進まなかった。

参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	防災・安全社会資本総合整備計画 (秋田県仙北市地域)		
計画の期間	平成30年度 ~ 平成31年度 (2年間)	交付対象	秋田県 仙北市



A16-001
住宅・建築物安全ストック形成事業
(仙北市役所 田沢湖庁舎)